

令和3年度 第3回CASE研究会 技術セミナー (Web配信)

～MaaSの現状と社会実装～

開催日時: 令和4年2月4日(金) 13:30～15:45 参加費: 無料

モビリティに関する様々な課題を解決する新たなサービスとして日本各地で実証試験が行われているMaaS(次世代交通サービス)について、現状と今後および新たなモビリティに与える影響等をご紹介します。講演1のMONET Technologies社はソフトバンクとトヨタ自動車の共同出資で設立され、MONETコンソーシアムには600社以上の企業が参加しています。講演2の日建設計総合研究所は、スカイツリーなど大型建築の設計会社である日建設計が設立した研究所であり、全国各地でスマートシティの実証試験を担当しています。両社ともMaaSに関する豊富な知見を有しています。

講演1 「MONET Technologies の取組と展望」

MONET Technologies株式会社 事業本部 事業推進部 担当部長 山本 竜也 氏

<概要>

都市部の渋滞や高齢者の事故、免許返納による移動困難者、公共交通の利用者減少、ドライバー不足など、さまざまな社会課題の解決策として「CASE」「MaaS」など新しい技術に注目が集まっています。その中で新たなモビリティの力を引き出し、さまざまな社会課題の解決、価値創出をしている、MONET Technologiesの戦略、取り組みについて紹介します。

<プロフィール>

1999年 モトローラ株式会社 第3世代携帯電話基地局の全国展開を担当
2002年 宇宙通信株式会社(現スカパーJSAT) 衛星管制設備全般の保守保全構築
2008年 イーモバイル株式会社(現ソフトバンク) 新規基地局設置・移動基地局構築や新周波数獲得を担当
2019年 MONET Technologies 株式会社へ出向 東日本エリアを中心にMONET MaaS事業を推進



講演2 「都市・地域が求めるMaaS時代のモビリティ」

株式会社日建設計総合研究所 主席研究員 安藤 章氏

<概要>

コロナ禍を経て、人々のライフスタイルや価値観は大きく変化し、都市を支えてきたモビリティにも新たな価値観の付与が求められ始めています。都市・地域政策の視点で、MaaS時代のモビリティに求められることをご紹介します。

<プロフィール>

1991年 株式会社日建設計総合研究所入社
専門分野: 都市・交通政策博士(工学)、技術士(都市及び地方計画)
名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授
筆書: 近未来モビリティとまちづくり(工作舎) 他



開催日時

令和4年2月4日(金) 13:30～15:45

参加費

無料 (定員80名)

申込締切

1月31日(月)16:00まで
※開催前日までにセミナーのURLをご案内します。

申込方法

お申込みは、ホームページから
<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/case20220128d3/>

問合せ先

(公財)埼玉県産業振興公社 先端産業振興グループ
〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 TEL 048-711-6870 FAX 048-857-3921
URL <https://www.saitama-j.or.jp/jidosha/> E-MAIL jidosha@saitama-j.or.jp